

会 議 録

会議の名称	平成30年度第1回清須市健康づくり推進協議会
開催日時	平成30年6月20日(水) 午後2時～午後3時30分
開催場所	清須市役所 南館3階 第1会議室
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. あいさつ 2. 委員の紹介 3. 清須市健康づくり推進協議会設置について 4. 会長、副会長の選出 5. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 健康日本21清須計画(第2次)中間評価について <ol style="list-style-type: none"> ア. 健康日本21清須計画(第2次)について イ. 中間評価について (2) 清須市自殺対策計画の策定について (3) 「健康に関するアンケート調査」の実施について (4) その他
会議資料	<p>会議次第</p> <p>資料1 清須市健康づくり推進協議会委員名簿</p> <p>資料2 清須市健康づくり推進協議会設置要綱</p> <p>資料3-1 健康日本21清須計画(第2次)概要版</p> <p>資料3-2 「健康日本21清須計画」の中間評価について</p> <p>資料4 清須市自殺対策計画の策定について</p> <p>資料5 健康に関するアンケート調査</p> <p><参考資料></p> <p>平成30年度清須市成人保健事業日程表・検診のご案内</p> <p>平成30年度清須市母子保健事業日程表</p> <p>平成30年度清須市国保特定健診</p> <p>平成30年度清須市介護予防事業年間日程表</p> <p>子育て世代包括支援センター</p>
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
出席委員	加藤委員、鬼頭委員、宮田委員、時田委員、山内委員、住田委員、佐橋委員、高山委員、鳥谷委員、波多野委員、中村委員、片山委員、中川委員、子安委員(清須保健所 馬場次長代理出席)
欠席委員	河野委員
事務局	<p>永田市長</p> <p>福田部長</p> <p>〔健康推進課〕佐古課長、古川主幹、鈴木課長補佐、高木係長、舟橋係長、坂下係長</p> <p>〔社会福祉課〕武居主幹</p> <p>〔高齢福祉課〕幸村係長</p> <p>〔その他〕(株)サーベイリサーチセンター(山村)</p>

会議の経過

《要旨》

1. 市長あいさつ
2. 委員の紹介（資料1）
3. 清須市健康づくり推進協議会設置について（資料2）
4. 会長、副会長の選出
会長に鬼頭委員、副会長に加藤委員
鬼頭会長 あいさつ
5. 協議事項
 - (1) 健康日本21 清須計画（第2次）中間評価について
 - ア. 健康日本21 清須計画（第2次）について
 - イ. 中間評価について
 - (2) 清須市自殺対策計画の策定について
 - (3) 「健康に関するアンケート調査」の実施について
（事務局より、資料3-1、3-2、4、5を説明）

加藤副会長：このアンケート調査の結果は、医師会へも情報共有させていただいてよろしいでしょうか。

事務局：調査結果は集計し、統計的に処理しますので、情報提供は可能です。

加藤副会長：健康日本21 あいち新計画では、平成34年までにCOPDの認知度80%を目指すとのことで、今回の調査で清須市の認知度について医師会として評価していければと思います。

佐橋委員：自殺対策の話がありましたが、これは健康日本21計画に関連があるのですか。

事務局：健康日本21計画に入れ込むというよりは、策定が同じ年度になりましたので、同じ冊子にはしますが、中身は別の計画として立てさせていただきます。

佐橋委員：全国2万人の自殺者があり、清須市は10人前後ということですが、年齢別のデータは出ていますか。

事務局：第2回の協議会の時にワークショップやアンケート結果とともにデータとしてご説明する予定です。また自殺者数が少ないので、年齢等を提示すると特定されてしまう恐れがあるので、平成24年から28年の5年間の合算で統計データを出させていただきます。清須市の特徴としては、やはり高齢者が最も多く、2番目に働き盛りの男性となっています。

佐橋委員：私の身近な人にも自殺された方がありましたので、自殺対策は必要だと思います。

鬼頭会長：日本における死因別死亡のデータでは1位は悪性新生物、2位は心疾患、3位は肺炎ですが、清須市の3位は脳血管疾患となっています。何か清須市としての特徴があるのでしょうか。たばこについて一生懸命これまで取り組んできたので、その効果が出ているのかなという気もしますが。

事務局：清須市の特徴として、主要死因別標準化死亡比（ベイズ推定値）では、女性の血管系疾患が非常に多く、高血圧性疾患、脳血管疾患、脳内出血、心疾患などで亡くなる方が多い状況です。また、清須市の女性は肝臓の病気で亡くなる方も多いと報告されています。女性の循環器系疾患の死亡率が高いというのはこの計画の策定当初からの課題ですので、女性の血圧管理や、高脂血症等に気をつけていただくよう出前講座や健康教育などで、啓発しています。

鬼頭会長：宮田委員、薬剤師会の立場からいかがでしょうか。

宮田委員：アンケート調査の内容は前回とほとんど同じだと思いますが、前回との比較分析がなされるのでしょうか。

事務局：内容は前回とほとんど同じにしておりまして、どれだけ良くなったのか、あるいは悪くなっているのかを評価、分析していきたいと考えています。追加の部分は自殺対策を新しく入れています。

宮田委員：COPDなどに興味を示される方は中年以降の方。高齢になると健康に不安が出てきて、こういったことに興味を持つようになるからよいが、若い方に如何に浸透させていくか。バリバリに働いている方は意識が低いのもかもしれませんが、考えていくべきだと思います。前回の時もカード型の啓発ツールを作っていたいて店頭にも置いていますが、若い方はなかなか持っていかないの、いいやり方があれば検討していただけるといいかなと思います。

鬼頭会長：企業の健康管理室の立場ではどうでしょうか。従業員の健康づくり等で何かありましたら教えていただければと思います。

中村委員：厚生労働省で平成28年からストレスチェック制度が始まりましたが、三菱重工では以前から毎年やっています。産業医やカウンセラーもいますので、高ストレス者がいればカウンセラーなどへ伝え、それから自己チェックで直接ケアをしていただくとともに、いつでも相談できる体制をとっています。また新入社員や入社何年目という節目の社員に対しても教育等を行っています。プライバシーの保護については、安全衛生委員会できちんと説明して、個人的にも相談に来ていただけるようにしています。あと現場では作業長、係長、課長などにふだんから社員の様子を見ていただいて、職場からも「ちょっと最近様子がおかしいな」と感じていることがあれば、早めに相談に来ていただけるように心がけております。

鬼頭会長：子育てをサポートしている経験から、波多野委員、何かございますか。

波多野委員：私たちは訪問し、出産を終えたお母さんと赤ちゃんを見せていただく活動をしています。フィンランドでは妊娠から子どもが育っていくまでをひとつながりとして、支え、寄り添っていくということを昨年の研修で聞いてきました。先日訪問した折、若いママが突然泣いて、何のお話もできない状況になってしまったことがありました。その時にこの訪問だけで終わってはいけないと思いました。そして保健師さんに訪問の状況の報告と併せて、つなぐことが必要だと思いました。一回の訪問で終わるのではなく、皆さんとご相談してこの活動をさせていただきたいと思っています。また、お隣の県でトラックの後ろに「子育ては〇〇市で」と市の名前が書いてあるのを見た時に、「子育てするなら清須市で」と次からはお伝えしたいと決めました。

鬼頭会長：貴重なご意見をありがとうございます。清須市が住みやすくなるように、皆さんと寄り添いながら、また隣近所の人と皆さんが顔を合わせて、やっていけたらなと思っています。

佐橋委員：加藤副会長によろしいですか。以前、食物アレルギーは時代とともに治るというようなことを言われた記憶があるのですが、アレルギーというものは昔からありましたか。

加藤副会長：アレルギーは昔からあります。ただ現代病と言われるようになってきたのは、この時代ではその役割が自分に向かってしまって、それが一因でアレルギーが増えていると言われつつあるためです。食物アレルギーが治るかどうかわかりませんが、体質のこともあり、かなり個人差があります。子どもの場合、ある程度のレベルの

アレルギーであれば少しずつ克服して良くなっていくことが多いです。

佐橋委員：市にも子どものアレルギーなどの相談はありますか。

事務局：乳幼児健診等の際にお受けすることがあります。健診の間では小児科の先生が診察していますし、中にはアレルギー専門の先生もいらっしゃいます。

加藤副会長：人とつながろうというのは一つの大きなテーマになっていると思います。孤立して苦しんでいることが多いと思います。会った時にこの人はちょっと注意かなと思ったものをフィードバックして、一人ひとりが責任をもって行動するということが大切です。迷うことがあったら「こういうことがあったよ」と伝えるということを、どの立場の人も考えながら行動できると、清須市はより素晴らしくなるかと思います。

加藤副会長：またその前にお話がありました、若い世代に対して、COPDも含めて健康に興味がないものをどのように啓発していくかということですが、子どもの教育の立場についても非常に大事だと思います。学校の中での取り組みとかPTAの取り組みとか、何かありましたらお願いいたします。

住田委員：学校では、薬物等についてはよく指導してくれています。早寝早起き朝ごはんについては、生活を記録して集計していく取り組みなども行っています。学校保健委員会があり、先生と保護者が同じテーブルで意見を交換するという取り組みも実施されています。

加藤副会長：スマホの問題は何かありますか。

住田委員：中学校2、3年生を中心に、携帯電話会社の協力でスマホ・携帯教室を行っています。昨年参加しましたが、父兄の参加率がとても低かったです。学年で70人中、お母さんは2人でした。もう少し参加していただけるといいなと思います。小学校の時もPTAでスマホ・携帯教室を行ったのですが、やはり参加率は低かったです。

加藤副会長：スマホ依存症、ゲーム依存症は病気と診断されています。

鬼頭会長：食事のことについて、食生活改善推進協議会の高山委員、よろしく願います。

高山委員：離乳食からはじまり、在宅高齢者の介護食まで、推進員は勉強して取り組んでいます。朝食を何とかしていただけないかなと思います。特に女子高生は大きくなって妊娠や出産がありますので、できるだけ丈夫な体で大きくなっていただきたいなと思います。私たちからはなかなか外へ発信ができませんが、心配はしております。

鬼頭会長：地産地消についても児童生徒に興味を持っていただけるといいのですが。

高山委員：地元の食品だと言っても大抵の子は「知らない」という感じです。地産地消に興味を持つというよりは、台所仕事にすごく興味があるみたいで、意外と男子がテキパキとやってくれます。

鬼頭会長：ありがとうございました。愛知県歯科医師会でも、3部門で歯ッピーレシピコンテストなどをやっています。食育としてそういうことも取り組んでいただけるとよいと思います。

鬼頭会長：社協の立場から、健康について何かありましたら願います。

時田委員：清須市ではブロックごとに社協を立ち上げて、各地区で乳児から高齢者までの健康に努めていただいています。各地区の社協で組織をつくっていただいて、健康教室や講座、高齢者に対してはサロン活動をして、皆さんで互いに助け合って地域で守っていくという活動をさせていただいている現状です。今回のこの

健康日本 21 計画についても、地域においてボランティア等の人に十分活動していただけるような地域づくりをしていきたいと思っております。その時にはまた皆さんのお知恵をお借りしたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

鬼頭会長：山内委員、地域での高齢者の孤立について何か問題を感じておられましたら、お願ひいたします。

山内委員：ブロック社協さんの行事にはほとんど出ています。皆さんに迷惑をかけないように、健康で生きなさいと伝えています。ブロック社協さんではいろんな細かい行事があつて、立ってやれないという人にも頭の回転を良くする体操だとかがあつて、毎週金曜日に 10 時から 11 時まで行っています。ブロック社協さんが、痒いところに手が届くところまで行ってくれています。

鬼頭会長：市民代表の中川委員、子育て中の立場から、また若い世代の健康について何か感じていたら教えていただきたいのですが。

中川委員：ストレスチェックのことですが、大きい会社ではストレスチェックなどの健康管理をしっかりされてみえると思ひますが、中小企業ではなかなかそういう場がないのかなと感じています。

中村委員：これは 50 人以上の労働者がいる企業で義務化されています。産業医や保健師が介入していない企業では、保健所や市の相談などをうまく利用されるとよいと思ひます。周りから見て様子がおかしいなと思つた時に、早めに電話相談でもいいですし、かかりつけ医があれば早めにかがっていただくとか、そういうふうに会社や周りの方からお声をかけてくれるといいと思ひます。

加藤副会長：やはり孤立しないということで、気がついた方がお見えになれば、声をかけてあげれば、その方が救われると思ひます。皆様その中で周りをみながらやっていただけると嬉しいなと思ひます。

事務局：本日の配布資料の中の、成人保健事業日程表の中に、心の健康相談等の相談窓口等も紹介していますので、参考にさせていただきたいと思ひます。

加藤副会長：健康づくりリーダーから、ご意見をお願ひします。

鳥谷委員：私は教室を持って、皆さんと一緒に健康のために体操や筋トレをやっております。その中で今ちょっと問題なのは、生徒が高齢化してきまして、85、86 歳になるとやめてしまう方が多くいることです。そういう方を受け入れるサロンや地域があるそうですが、こちらの地区にはないので、できれば集会所などを使っていくといいと思ひます。一人暮らしの方を皆さんで誘って、お茶を飲んだり手遊びをしたり、そういうことをしていけたらいいと思ひます。

加藤副会長：寿会の活動はどのように紹介されていますでしょうか。

山内委員：ブロック社協はきめ細かく活動されているので、そうしたものを利用していただけるとよいと思ひます。参加するかどうかの問題で、健康な人は必ず参加するが、来ない人はどうやっても来ません。その人に任せるしかしょうがないです。

鬼頭会長：片山委員、市民代表の立場からお願ひします。

片山委員：スポーツ推進員をやっておりますが、健康のためにはスポーツが一番と考えております。市には総合型スポーツクラブがあり、まだ幼稚園、保育園に行っていない子が親御さんと体操をしたり、シニアの方、80 歳くらいの方もいらっしゃいます。年間 18,000 円で利用し放題で、コーヒーを一杯飲むつもりでおれば健康維持ができます。それが一番健康でいい暮らしができるのではないかなと思ひます。皆さん近くにいらっしゃいましたらぜひ声をかけていただいて、スポーツクラブの方に来ていただければと思ひます。よろしくお願ひします。

鬼頭会長：それでは、ここでアンケートの内容についてご了解いただけますでしょうか。
(賛成多数で承認)

鬼頭会長：では最後に、清須保健所をお願いいたします。

馬場委員：アンケートはかなり膨大な量ですが、計画策定時の回収率はどれくらいだったのでしょうか。

事務局：有効回収率は850件(42.5%)です。

馬場委員：かなり細かい質問なので、回答者も大変だと思いますが、できるだけ多く回収できることを願っております。県も3月に中間評価を出しております。その中で指標や目標年次等の見直しや廃止もありますので、それも参考にさせていただきながら中間評価をしていただきたいと思います。また、自殺対策計画も県の計画を参考にさせていただきたいと思います。健康増進法の改正も現在審議されておりました、おそらく成立すると思いますが、その視点も踏まえてほしいと思います。今後も健康づくりについてご協力をよろしくお願いいたします。

(4) その他

事務局：子育て世代包括支援センターを4月に開設しました(参考資料を説明)。
市民ワークショップを10月上旬に開催しますので、参加をお願いします。
今回は、10月下旬頃の開催を予定しています。

会議の経過を記載して、その内容に相違ないことを証するためにここに署名します。

署名委員

高 山 瑛 子 ⑩

波 多 野 眞 純 ⑩

会議の結果	会議の経過に示したとおり
問い合わせ先	健康福祉部 健康推進課 052-400-2911 内線2111・2151